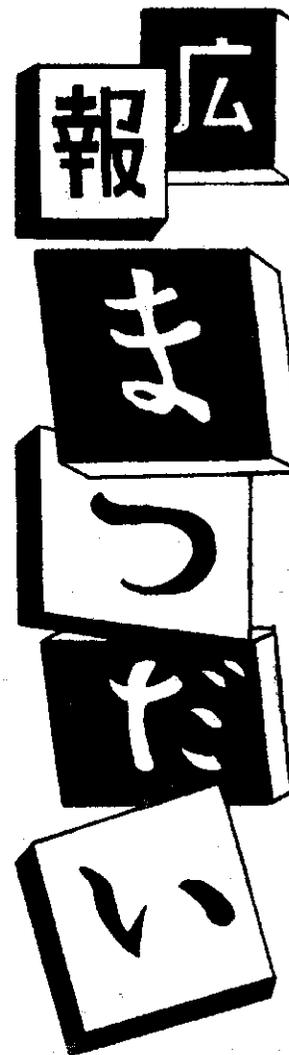


# 謹賀新年



昭和47年1月4日発行

第149号

東頸城郡松代町公民館

館長 富沢清次

電話 松代1番

印刷 松代印刷所



昭和四十七年の新春を迎えるにあたり、謹んで皆さま方に心からお慶びを申し上げます。

七〇年代がはじまって、すでに二カ年の歳月を経過した、周知のとおり、この七〇年代は、激しい流動と変革の時代であるといわれています。そして行政のあらゆる分野において、いまままで経験したことのない新しい事態への挑戦が要請されることとなるのは必然であります。

七〇年代は過去のどの時代よりも異質の時代としてとらえねばなりません。「人間性豊かな福祉生活の確保」が新時代の目標であり「公害防止への重点投資」が必要とされている、重化学工業重視の時代は終って知識集約型産業へと移行しつつあると考えられます。が然し、わが国の経済成長は、しばらくは世界各国から驚異の目をもって迎えられていたが昨年八月のドルショック以来、アメリカを始めヨーロッパの先進諸国からいっせいに、その強引な進出ぶりにつよく反省を求められることになりました。そして産業界に対する影響は殊の外大きく、昨年初秋

から、経済界の波紋はより深刻な業態を呈することになりました。このことは、町村行政についても財政的な影響を及ぼして来ています。地方交付税の減額や、法人税の伸び悩みによる国と県財政、そして町村財政へと、地方財政の引締めが要請されてくるのであります。

さて、私達はこの一年間社会経済情勢の変化によって町民生活が変化することをのあたりにみてその地域の将来を考え、現在の問題解決策を検討しその実情につき対策促進に努めたいと思います。然し乍ら未だ道路交通、産業文化教育設備、環境衛生などの各種の公共施設において、最近の教育水準や、マスコミの発達などから皆さんの欲求力は予想以上に高く、その欲求に応ずるための格段の行政努力を進めねばなりません。また過疎問題も一層深刻さを加えて参りました、この解決も急がねばなりません。これらの諸問題は今後の実行活動において、国、県政の面にも反映させてゆかねばならないとも考えております。

その第一は道路問題、町道整備に力を注ぎ、過疎対策の重要事業として目下実施に入っております。第二に雪の問題だと思えます。これは、雪の中で生活してみてもその苦労と難渋が身にしみる

ものであって、この対策は他力本願ではだめだと思えます。この雪の対策が一に過疎に大きな影響を及ぼしていると思えます。四十六年度事業として雪上車と圧雪車の増加をなし、試験的ではあるがその実施に入っています。良結果を得られれば新年度は大巾な増強対策を図りたい所存であります。雪のない夏の季節に、或は消雪期に豪雪対策だとか視察調査が果して特別豪雪地帯の生活が苦勞が納得と了解ができるものかどうか。ご存知のように、当町は特豪地帯指定地でありますので、雪の生活環境改善に一段と力を注ぐ考えであります。

第三に僻地医療問題だと思えます。このことは、地域住民の福祉につながることであり、殊に出稼者の留守家族に対する医療対策や過疎と人口流出、そして豪雪という特種地帯における町内の各医療機関の経営及び労働加重緩和のこ題をかかえております。従って、事あることに関係機関に長期対策を要望しております。

このように最近における地方行政をとりまく諸問題は誠に由々しいものがありまして、過疎事業を始めとし町の皆さんと共に話し合い一歩一歩住みよい郷土作りに推進の年輪を刻んで大樹となるまで新年度は更に勇氣をもって当たる考えであります。以上新春に際し、所懐の一端を申し述べ、併せて皆さまのご多幸とご健康をお祈りして、私のあいさつといたします。

水稲共済金は

一九九戸に……

二、〇六七、五〇〇円が支払い

昭和四十六年産水稲の被害状況並びにその共済金が、十二月十八日付で、農協個人貯金口座に振込み支払いされましたのでお知らせいたします。(産業課共済係)

昨年のは稲作は、豪雪、減反と春先より大変の中にあつたけれども漸次好天氣に恵まれ、青作は豊作

だといわれていましたが、八月中旬後半において急な冷え込みのため、これが原因の稔実障害又は穂首、枝梗イモチ、ウンカ等の病虫害を誘引し、早生を除いた、中、晩生種にはさんさんの年でした。特に越系品種の「越みのり」「越光」「越ほまれ」「越ゆたか」が三割以上、総被害の六〇%以上をしめているという事は、まことに残念なことでした。被害の内訳は次の表の通りで

被害名	項目	面積	筆数	共 済 金
穂首イモチ	枝梗イモチ	1,598	410	1,661,200
	ウシカ	157	50	168,100
冷水害	害	50	14	85,100
	害	91	33	106,700
その他	他	49	8	46,400
計		1,945	515	2,067,500

あります。

# 第四回町議会定例会開かる

第四回の町議会定例会は去る二月二四日午前一〇時より開かれました。この日議題として提上されましたものは

請願、陳情事項 三件  
報告事項 三件  
町長の提出議案 四件  
で計一〇件でした。

午前一〇時議長開会を宣言し、会議録署名議員の指名に入り二名の議員を任命し、続いて会期の決定に入り、二日間を決定いたしました。

次に請願、陳情事項に入り濁部落の中学生通学困難による寄宿補助の陳情

▲教育費増額に関する陳情  
▲月池・松代線除雪に関する陳情の三件が行なわれましたが、第二の教育費増額に関する陳情は町のPTA連絡協議会長より、教育予算の増額を、また月池・松代線の除雪に関しては、室野・福島間道路の除雪を図り物資等の輸送で出来る様に陳情されたものです。

続いて報告事項に入り、社会常任委員会（委員長高橋忠平）より水道拡張事業予定水源地視察、室野保育所建設予定地視察、危険物処理現場視察の報告があり、産業経済常任委員会（委員長米持幸太郎）より農道（海老、犬伏、小荒戸、福島、室野、儀明、池尻）の開設及び復旧工事視察と當場線舗装状況報告がなされ、建設常任委員会（委員長市川璋次）より町内各地の土木事業の調査報告が行なわれました。

次に提出議決を見ました議案は次の通りです。

議第一号 田代部落陳情審査結果特別委員会報告に関する件  
（田代部落の離町陳情に関する審査の報告が委員長よりなされました）

議第二号 新潟県町村人理事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び規約変更について  
（これは松代町と関係ありませんので省略いたします）

議第三号 新潟県町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の増加及び規約変更について  
（これも関係ありません）

議第四号 昭和四六年度松代町一般会計補正予算（第三号）  
（才入才出にそれぞれ二〇、一三、四千元を減額とし、才入才出予算総額をそれぞれ五六二、〇一七千円とするということで、主に農業用施設災害復旧費と総合センター建設費の減によるものです）

尚一般質問が二四日の午後と二五日の午前に一〇名の議員よりなされ、山積みする町の諸問題について真剣な質疑応答が行なわれました。

## 今日も雪上車が道ふみ

### 町の道路無雪計画が推進

この土地に住むものにとって、冬の道路の確保は永年の夢であり強い願望でもあります。町としても主幹道路はせめて無雪化し、住民の足を確保したいといろく／＼計画をたててきました。ことに近年過疎化や出稼ぎなどの関係から、部落間の道ふみも容易でなくなりこの問題は深刻化してきました。昨年来町では総合開発計画の中でも大きくこれを取上げ、種々研究をしてきましたが、本年度は積極的にこれに取組み、せめて道路

の圧雪だけでもと、大型雪上車の増加、中型雪上車の購入、ブルドーザーの随時出動等により、計画推進に当ることになりました。

中央（松代）、清水、蒲生にそれぞれ大型雪上車を配車し、降雪日は毎日、朝夕、蒲生、松代、清水、松代間に車を運行、松代の大型車は緊急時にそなえて待機させておくほか、池之畑、下山方面へも随時出動し、できるだけ道を確保すべく計画されています。

尚清水、蒲生の車は随時、儀明、仙納、筋平、桐山方面へも出動しできるだけ圧雪を図る様になっています。

また中型雪上車は菅刈、福島、竹所に配車。菅刈、松代、福島、室野、竹所、木和田原間の圧雪に当り、その他できれば近在部落間への道路圧雪にも当る様になっています。

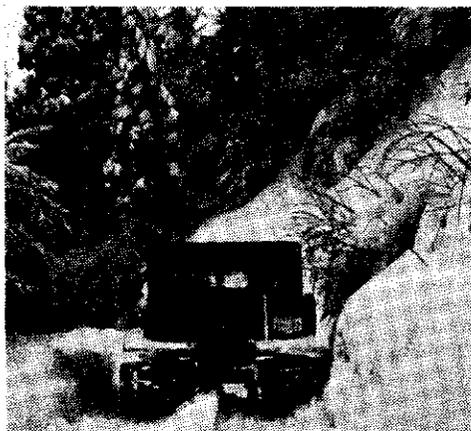
国道、県道も今年は田沢、室野間が二種路線道路となりましたので、車が止まる様なことがなからうかと思われませんが、いずれにしても、町内の冬期交通路の確保について、第一歩が強く打出されたことを喜びたいものです。

## 和牛繁殖優秀農家表彰

本年も和牛繁殖優秀農家として次の八農家が選ばれ、町長から表彰されました。

こゝ数年来、牛の飼養農家が減少している中であって、五連産以上の繁殖成績をおさめた農家が案外多かったことは、まことに力強いことだと思えます。それぞれご苦労もあったことと思えますが、これからも一層努力を願って、孟地の柳文八郎さんの十五連産の記録を更新するよう期待しています。尚、表彰を受けられた方々は次の通りです。

- 。八連産 滝沢 佐藤富士郎
- 。六連産 蒲生 室岡庚一郎
- 。五連産 千年 佐藤辰平
- 。五連産 小屋丸 柳茂雄
- 。五連産 池之畑 山賀宗一郎
- 。五連産 下山 宮沢長三
- 。五連産 東山 山岸正男
- 。五連産 仙納 池田豊吉



# 年頭所感



純白な雪の原はうららかな初日の光をうけて輝いている。その中に昔に変わらぬ淡海川は長々と静かに流れて誠に平和な景色である。出稼ぎ先から帰られた方達は温かく家族に迎えられる。年越しをされたことでしょうか。人間はいつどこにあっても強く正しく生きるには心のなごむよりどころを必要とするもので、そのよりどころは人によって多少の相違はあっても、山水の美しく、清らかな、そして祖先の安らかに眠られる我等の古里、松代町こそ最も条件にかなう土地だと思ふ。

昨年はこの松代町から九十三世

## 昭和四六年度米産調整の状況は...

米の生産調整については、困難な情勢下にもかかわらず、ご協力くださいまして誠にありがとうございます。

## 昭和46年度米生産調整実績書 松代町

目 標	計 (申請書提出)		実 績		目標に對しての達成率	
	数量	面積	数量	面積	数量	面積
	kg	a	kg	a	kg	a
	734,000	18,400	665,308	17,171	656,205	16,961.8
					89.4	92.2

### 実績の内訳

	面積	加算額	基本額	奨励補助金の額	概算	精算
					8月振込	12月振込
個人休耕	11,908.5					
転換養魚池	382.3	191,150				
農業施設	5.8	2,900				
永年性作物	4,107.1	4,107,100				
普通作	461.6	230,800				
青刈稲	96.5	48,250				
合計	16,961.8	4,580,200	44,621,940	49,202,140	26,271,600	22,930,540

基本額 = 生産調整数量に1kg当68円乗じたもの  
 10a当(1反歩)10,000円のもの 永年性植物を植えた場合  
 加算額 = 10a当 5,000円のもの その他転換、転作が該当

帯の方々が転出されてしまった。勿論深い事情もあられたでしょうが、今頃はきつと郷里の正月を思い出しておられることでしょうか。如何にこの土地を去っても心のよりどころである郷里を忘れるものはいないでしょうし、忘れて捨てるようでは人間としての成長はおぼつかないと思ふ。

人間誰しも文化的生活を求めたいものはいない。生活水準の向上した今日、旧来の農家経営だけでは経済的地位の向上が望めない。情報化時代の子供は、素直で純朴で服従的であることはよいとしても、耐える強い力を育てないといふのは、親の不幸に成らないだろうか。円の切り上げで国際的にたたかかれて経済競争の激しい都会地に出て甘える人もいない。職場で勤めるにしても、過疎の波に打ち克って郷土を建設するにしても七〇年代は実に容易でないと思ふ。

(富沢清次)

ございました。お陰様にて、それぞれの申請に基づいて現地の確認も終り、休耕奨励補助金が四六年一月二七日付で農協の各人貯金口座に振込みされましたのでお知らせいたします。

尚、休耕奨励補助金の概算金払

## 大雪にご用心!!

松代幹部派出所

雪による事故を防ぐために、新潟地方気象台発表の長期予報によると、この冬は寒暖の変動が大きく、一月下旬、二月前半ころには寒さの続く期間があり大雪になりそうです。

大雪になると、家がつぶれる、なだれの下敷になる、火事が出ても消火作業がむずかしくなる、又家のまわりが雪の壁になっていて逃げ場がなくなるなどのことから、尊い人命が失われる危険が高くなります。お互いに次の点にじゅうぶん注意して、事故のないようにしましょう。

- 屋根の雪おろしは早目にする。
- 道路の雪ふみ、除雪をする。
- 消火栓や消防器具置場、非常口は必ず除雪しておく。
- 川や池、橋、がけなどの危険個所に標識を立てる。
- なたれの危険個所には標識を立てるほか、まわり道をするなどして、なるべく危険個所を通らないようにする。
- 児童生徒の集団登(下)校を行ない、悪天候の日や危険のある場所では父兄が付添う。
- 石油ストーブ、ガスストーブなどの暖房器具は説明書に合った安全な取扱いをする。
- 火気を使用しているときは、その場所を離れない。
- 留守にする場合は必ず消火する

## 電話番号異動 (追加)

異動	新設
室野	鈴木トメ 四七〇九
"	高橋幸平 五六九
"	山岸キン 四五一七
福島	高橋四郎 四四五五
濁	佐藤徳次郎 四四四一
山岸 節	七四九